

田園

五月号

聖フランシスコ カトリック田園調布教会

(No.622. 2013. 5. 1) 発行責任者 矢野 勉

☎ 03 (3721) 7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

私の教会を建て直しなさい

助任司祭

アウグスチヌス 桑田拓治神父

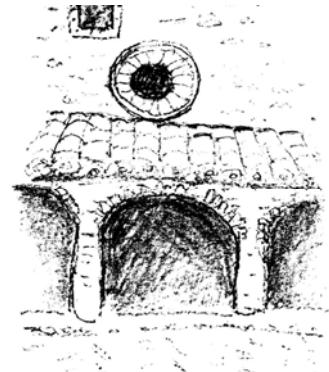
「私の教会を建て直しなさい」これは聖フランシスコがサン・ダミアアノの十字架から語りかけられた言葉です。この言葉を聞いた聖フランシスコは、文字通り自らの手で教会を建て直し始めるのですが、人々に材料となる石を喜捨してくれるように頼んでいます。その意味では、人々の善意と聖フランシスコの手のわざによってサン・ダミアアノは建て直されたと言えるのかもしれませんが、しかしこの言葉の本当の意味は、フランシスコ会の創立と兄弟たちの宣教によって、教会そのものを刷新することを意味

していたのです。

前教皇ベネディクト十六世によって「信仰年」が始められました。

教皇は現代の教会に、自ら信仰を刷新することを求めたのではないのでしょうか。前教皇にも「私の教会を建て直しなさい」との神の言葉が聞こえていたのかもしれませんが。

現代日本のカトリック教会に「新しい福音宣教」が求められています。これは洗礼を受けたけれども、キリストの福音を伝えられていない人々に向けられた福音



宣教です。

そして、私たちのカトリック田園調布教会も例外ではないように思えます。何よりも青少年への「新しい福音宣教」が急務なのではないでしょうか。

教会学校と初聖体、そして堅信の勉強だけでは信仰養成は足りていないと思います。

信仰養成においては、何よりも家庭で、家族とともに祈る生活が大切です。

子供に親自身が自らの言葉で、自らの信仰を伝える事が大切です。そして、自らの信仰を自分の言葉にすることは、何よりの信仰養成になるのです。

家庭教会を通して養成された信仰が、カトリック田園調布教会を建て直す石となっていくことが望まれます。

信仰の刷新の他に、財政の基盤を構築することも重要です。

大聖堂は築六十年を迎えています。現時点では築八十年を目処にメンテナン

スを行っていますが、あと二十年后には、この大聖堂をどうするかを考えなくてはなりません。そのために、これから二十年でその財政的裏付けを作り上げなくてはなりません。

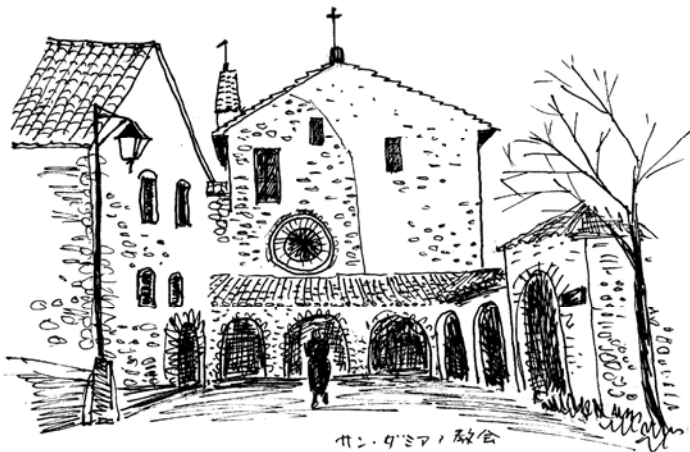
単年度会計が黒字だからと安心していることは出来ないのです。そのためには信徒一人ひとりがこの大聖堂のために維持費を納めてくださる必要があります。

私が大学のため、地元の教会を離れるとき主任司祭から異動先で維持費を納めるように言われました。

そうしなければ本当の意味で小教区に帰属したことはないし、私が信仰から離れる危険があるからとのことでした。金額としてはちよつと痛い金額にしなさいと言われたので、私は友人と飲み会に行くのを一回断る程度の金額を納めることにしたのでした。

信仰のために少し犠牲をすること、これも信仰養成においては重要なことだろうと思います。

自らの信仰の刷新と維持費と言う、皆様の善意を形にして「私の教会を建て直しなさい」と言う神の言葉に応えていこうではありませんか。



〈信徒連絡会〉

四月十四日議事録

◎ 竹内主任神父様のご挨拶とお祈り
シノドス会議が開かれ、「新しい福音宣教」ということばが使われました。家庭に目を向け、家庭に福音を述べ伝えるということです。信仰年に合わせても一度自分の信仰を省み、家庭の信仰を考えていきましょう。

〔報告事項〕

- ◎ 世田谷南宣教協力体ローテーションミサと信徒交流 (三月十日)
- ◎ キム神父様のお話しを聞く会 (三月十日)
- ◎ 大震災復興祈念ミサおよび支援募金 (三月十日)
- ◎ 信徒総会 (三月十七日 十時ミサ後)
出席者は約二百五十名。教会委員の任命報告、今年度の取り組みの説明、組織変

更に伴う規則等改正の承認、大聖堂修繕工事の承認、決算報告・予算説明と承認。

- ◎ 枝の主日 (三月二十四日)
- ◎ 全国侍者集会 (三月二十五日～二十七日) アントニオ修道院にて実施
- ◎ 復活徹夜祭 (三月三十日)
受洗者五名、改宗者四名
- ◎ ご復活の主日 (三月三十一日)
幼児洗礼一名
- ◎ 青年会ミニコンサート (三月三十一日 十一時ミサ後ホールにて)
- ◎ 信徒会館受交代 (四月一日から)
藤田さんが退任し、堀さん、舘野さんが担当することになりました。慣れるまでごごちないことがあるかもしれませんが、よろしく願います。
- ◎ 風評被害農家応援セール (四月七日 ホールにて 第二十三回)
- ◎ エクレシアチャリティーコンサート (四月七日 ホールにて)
参加者は約五十名でした。

〔今後の行事予定〕

- ◎ 新人歓迎会 (四月十四日 十一時ミサ後ホールにて)
- ◎ 第一回オルガン見学会 (四月二十八日 十一時ミサ後二十分～三十分間)
信徒の皆さんにパイプオルガンに興味をもっていただくため、今後も数回実施します。ミニコンサートも年に数回開催し、献金を維持管理に役立てていきます。
- ◎ 上野毛教会バザー (五月十二日)
ボランティアセンター、フランシスコ饅頭を出店予定です。
- ◎ 教区堅信式 (五月十九日)
四月十四日が申し込み締め切りです。
- ◎ 碑文谷教会バザー (五月二十六日)
布の会が出店予定です。
- ◎ 初聖体 (六月二日)
男性七名、女性四名の予定です。

〔検討・連絡事項・意見交換〕

- ◎ ご意見・ご質問について
「正門からの斜面に手すりを設置してほしい」との要望があり、今年中に設置するよう、日程を調整しています。

「泣き部屋の使用方法について」、ミサ中に私語、読書、飲食をしている方があるので、ルールを明示していきます。

◎大規模修繕工事の発注

大規模修繕工事は発注済みで、足場工事、蛍光灯落下防止工事等を先行して行います。日程が決まりましたら報告します。

◎各種改定規則の公示

信徒総会で説明のあった改定する規則を信徒会館に一月工事します。

◎教会案内の改訂について

本年版が完成し、四月二十一日から受付に置きます。

◎教会ホームページのリニューアル(三月三十一日)

三月三十一日から新しいページで発信しています。旧ページから十秒後にジャンプするように当分の間設定しています。情報を発信することを目的としています。自分たちが更新できる仕組みなので、各担当が充実させていくようにしたい。

◎行事参加者登録の経過について

教会の様々な行事に企画から参加してく

ださる方の登録をお願いしています。第二回の締め切りは四月七日で、申し込みは累計で三十四名になりました。六月の行事までは担当を割り当て済みです。第三回の応募締め切りは五月末で、七月以降の行事の担当をお願いします。これまで個別の行事をお手伝いくださっていた方も、この名簿を元にお手伝いをお願いしますので、登録をお願いします。ホームページ運営や復興支援も募集しています。

◎教会学校について

二学期から日曜開催に移行する予定です。今年度の開校は四月二十七日です。

〔委員会、活動会からの報告〕

◎教会委員より

信徒連絡会でいただいた意見は、次の教会委員会で検討し、翌月の信徒連絡会で発表します。信徒連絡会で発言しづらい際は、意見箱もご利用ください。

◎フランシスコ一粒会より

これまで召命委員会として活動してきま

したが、教会の組織改定に伴い、以前の「フランシスコ一粒会」の名称に戻し、司祭・修道者の召命と育成のために活動していきます。ご協力をお願いします。四月二十一日は世界召命祈願の日で、カテドラルでミサがあります。

◎ボーイスカウトより

三月二十三日から二十五日まで、ボーイスカウト、ガールスカウト、教会学校合同でスキー教室に行ってきました。五月十二日には、同じく合同で潮干狩りに行く予定です。

〔意見、質問、他〕

◎掲示板の周辺に画鋲が落ちていて危ないので対策をお願いしたい、という意見があり、「検討する」と回答がありました。

今回は五月十二日十時に開催します。

教会維持費の納入状況(2013年4月現在)をお知らせします。(財務委員会より)

■ 納入者数

- ① 信徒総数 3,625人
- ② 納入可能者数(20歳以上) 2,744人**
- ③ 納入登録者数(死亡者除く) 1,844件 (個人だけでなく家族単位も含まれます。)
- ④ 納入者数 907件** (個人だけでなく家族単位も含まれます。)

納入率(④/②) 33.0%

※納入可能者に対する納入者数は33%ですが、信徒総数は個人数ですので正確な比較はできませんが、約三分の一と思えます。

■ 参考データ(信徒総数の内訳)

(1) 年齢別

年齢別	実数		住所不明者	総数
19以下	324	} 納入可能者数 (20歳以上) 2,744人	18	342
20代	203		47	250
30代	340		59	399
40代	573		110	683
50代	462		151	613
60代	456		78	534
70代	388		46	434
80代	261		39	300
90以上	61		8	69
不明			1	1
合計	3,068		557	3,625

(2) あいうえお別 (納入件数=家族単位も含まれます。)

	件数
あ行	196
か行	132
さ行	137
た行	105
な行	86
は行	81
ま行	91
や行・ら行・わ行	79
合計	907

- ★ 現在の教会維持費の納入者数は現在907名です。これは20歳以上の信徒に義務付けられている納入可能者(2,744人)に対して約33%です。納入者は家族単位で登録している方もいますので、一概に比較できませんが、それでも全体の約三分の一です。
- ★ この現状をご理解いただき、未納入者の減少にご理解とご協力をお願いします。

受洗・改宗お慶び申し上げます

「信仰年」にあたる今年の復活徹夜祭に五名の受洗者、四名の改宗者復活の主日に一名の幼児洗礼者が神様のお恵みをいただきました。私たち信徒も今一度、原点に立ち帰り、喜びを共にしました。



写真提供：丸山隆さん

『洗礼を受けて』

マリア エウラリア 岩崎理恵子

私はクリスチャンである夫との結婚を機に、キリスト教にふれながら生活していく中で、神様を信じその導きにすがりたいと強く思うようになりました。そしてより深く神様を知り、自分の求めている答えを見つけようと勉強していくうちに、これまでの苦しいことや幸せなこと、すべては神様の導きであると思うようになり、これからも神様とのふれあいにより自然に考え受けとめることができると感じるようになりました。神様の教えは心をよりよく育て、探して

いた道を示し、生きる力を与えてくださるものと確信しております。この度ようやく受洗できたことにより、教会の家族になれたという喜びと合わせて、いまはとても心地の良い心の安らぎを感じております。これからも日々の歩みの中でお祈りし続け、神様のお恵みを感じながら生きて行こうと思います。

『受洗後の今の気持ち』

ルカ 金子周治

受洗後の今、とても晴れやかな気持ちです。そして心も体も軽いのを感じます。これまでキリスト教について宗教絵画、「白痴」「悪霊」等の小説、吉祥寺教会の森山神父様の勉強会、そして、竹内神父様の勉強会で学んできました。昔の信心深い農夫達のような純朴でとても美しい心に、とても真似することはできないと分かって、少しでも近づける今後も努力して行きたいと考えています。

生活の中では、受洗前から行っている日々の祈りをしていると不思議と小さな誘惑がそれほど忍び寄ってこない気がしています。そして結果として、自身を律することが良くできていると感じています。また同時に、周りの人にキリスト者らしい接し方ができていると感じます。これからは、この振る舞いがどのような時でも自然にできるように心も体も鍛えて行こうと思います。

『受洗によせて』

フランシスカ 藤浦弥生

四歳の時、カトリック幼稚園で初めて十字を切った私でしたが、その後はとうとうごく普通の日本の家庭に育つたため教会とは付かず離れずといった距離がありました。数十年を経て今回の受洗となりましたが、信仰とはという難題に悩んでいた昔の事と違いシンプルに、「イエス様を信じる」

という事が様々な疑問を一つ一つ解決してゆく手助けとなったような気が致します。今は受洗をはじめ全ての事が神様のお導きを感じております。

これからは、復活徹夜祭での厳かな洗礼式を胸に、皆様方にも助けて頂きながら少しずつ信仰を深めて参りたいと思っています。

最後にこの場をお借りして、受洗に際してお世話になりました竹内神父様、受入れの会の方々はじめ多くの皆様にご心より御礼申し上げます。

『改宗の恵みに感謝』

フランシスコ 平山 収

三月三十日の復活徹夜祭において、プロテスタントからカトリックへの改宗の恵みを受けさせて頂いたことに感謝致します。

私は一九八一年、学生の時にプロテスタント教会で洗礼を受けましたが、就職の為に京して以来教会へはたまに行く位で、それから教会から離れた状態が長く続いています。

した。

数年前から自分の信仰について思い考えていましたが、昨年田園調布教会の勉強会に出席する機会を得、改めて信仰の学びを受けさせて頂くことが出来ました。また、受入れの会の方々からも色々教えて頂き、またお話を聞かせて頂きました。それらのことが全て新鮮で、自然に自分の中に受け入れられ、カトリックへの改宗の気持ちへと導かれました。

これからは頂いた霊名フランシスコに倣った生き方に、少しでも近づけるように努めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

『改宗』

アンデレ・フランシスコ・ペトロ

佐藤英雄

荘厳な光の祭儀が始まった、聖なる復活の徹夜祭。感動と緊張の中、竹内主任司祭様から塗油で額に十字を印され、「聖霊を受けなさい」「アーメン」と応えた。堅信の秘跡は感慨無量でした。

二十四歳のとき秋川溪谷で、「父と子と聖霊の御名によって」洗礼に授かり、以来長老派教会で信仰生活を続けてきました。

カトリック教会にはその当時から興味があり気になっていました。二年前から田園調布教会に通い始め、一年間受入れの会で準備をし、改宗することができました。受入れの会の皆様のお人柄とご指導等、そして新神父様のご理解に心から感謝申し上げます。

聖なる唯一普遍の使徒継承のカトリック教会共同体に加えられた恵みに生かされて主の平和の道具として福音宣教の担い手となることができるよう励みたいと思います。

どうぞ皆様のお力添えと共に主にあるお交わりをよろしくお願いいたします。

『改宗の喜び』

マリア カタリナ 佐藤泰子

初めて聖体拝領の恵みにあずかった時は緊張しつつも、感動しました。

キリストの御体をいただいて、キリストの愛を覚え、心と体がつよめられるように、力をいただきました。プロテスタントからカトリックに改宗して本当に良かったと思えました。

礼拝からミサへ。初めの頃は、その内容の違いにとまどうことも多々ありましたが、今では司祭様と共にささげるミサに力をいただいています。日曜日に教会へ行くのが本当に待ち遠しいです。また田園調布教会の一員にくわえていただけたことも感謝です。

これからもカトリックの教えを学び、深めていき、共同体の一員として歩んでいきたいです。

『改宗とご聖体の恵み』

マリア・テレサ・クララ

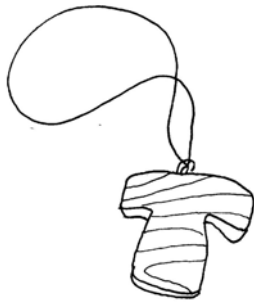
佐藤あゆみ

この度、神父様はじめ、多くの方々に支えられ、このカトリック田園調布教会で改宗の恵みが与えられた事に、大きな

喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

改宗式で、待ち望んでいた御聖体を受けた時は、パンが口の中でじわりと溶けていくのと同時に、「あゝ、神様が私のなかにきて下さったのだ・・・。」と実感し、感動で胸がいっぱいになりました。これからずっと、毎週のミサでこの御聖体をいただくことができるのだと思うと、大変心強くなります。

これからより一層、祈りのうちに信仰生活に励み、教会共同体の一員として、神様の御業をあらわすものとして名前のごとく歩んでまいりたいと思います。





一コマより

2013年 新人歓迎会

(四月十四日)

この一年間に五十五名の兄弟姉妹が加
わりました。当日は三十二名の新人の
方が参加いただき、和やかなうちに
行われました。

初金懇話会のお知らせ

6月7日 (金)

10:00~11:00 ミサ (クララ聖堂)
11:00~12:00 講話 『福島から「生きる」を学ぶ』
講師 漆原比呂志 氏

一般社団法人 日本カトリック信徒宣教師会 (JLMM) 事務局長
カトリック東京ボランティアセンター (CTVC) 事務局長 兼任

12:00~13:00 昼食会 (当日申込500円)
福音宣教委員会

★ ミサ時間 ★

平日 7時
土曜日 19時
主日 7時半
9時
(子どもと共に)
11時

新緑

小林シゲ



新緑の森の教会ミサの鐘

駅を出て間もなくミサの鐘が鳴り始めることがある。
遅れては大変と教会へ急ぐ。急ぎながら森の新緑と
鐘の音が心に浸みて「いざ生きめやも」と心が弾み
ました。

ガリバーのごと蟻の列またぎけり

何処から何処へ行くのか蟻の列、私はそれを踏みに
じって蹴散らすことも出来る。しかしそれをしない
懸命な蟻の営みが人間様の生き方にも通じるように
思えて憐憫の情をいただきました。

たけのこ

さんしょう

筍に添える山椒を庭で摘む

料亭で筍の煮物に添えられた緑の山椒を折にふれ
て摘まされ、棘が多く痛かったことを懐かしく思い
出しました。